



SAP Ariba 

機能の概要

評価プロセスおよびカスタムサプライライフサイクルプロセスのための新しいモジュール式プロセスフレームワーク

SAP Ariba、Balachandar Ponnusamy

一般提供予定: 2021 年 11 月

PUBLIC

機能の概要

説明: 評価プロセスおよびカスタムサプライヤライフサイクルプロセスのための新しいモジュール式プロセスフレームワーク 今までの課題

SLP では現在、設定可能なテンプレートごとに、ライフサイクルプロセス (登録、評価、優先) のセットが固定されています。ライフサイクルプロセスは、プロセスの種類に加え、さまざまな商品分類、地域、部門の分類別に異なる可能性があります。

現在のライフサイクルは、「はい」か「いいえ」のいずれかの結果しか得られませんが、データ収集や評価プロセスの最終的な状況はよりきめ細やかである必要があります。

最後に、ある質問事項で収集されたデータをほかのプロセスで再利用することができず、サプライヤがデータを複数回提供することが必要になる場合があります。

対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance (SLP)
SAP Ariba Strategic Sourcing Suite

SAP Ariba で問題解決

プロセスプロジェクトでは、モジュール式サプライヤ管理質問事項のさまざまな組み合わせを使用して、さまざまな種類のサプライヤ向けに、さまざまなサプライヤ管理プロセスを作成するための柔軟で繰り返し利用できるフレームワークが提供されます。

プロセスプロジェクトによって、質問事項の内容を特定のサプライヤ向けにカスタマイズしたり、さまざまなプロセス間でモジュール式質問事項を活用および再利用したり、特定のサプライヤライフサイクル関連処理のカスタムプロセスを作成したりすることができます。

関連情報

該当ソリューションを使用しているすべてのお客様は、この機能を直ちにご利用いただけますが、**お客様の側で有効化の手順**を実行していただく必要があります。

主なメリット

評価およびその他のデータ収集アクティビティの両方にモジュール式質問事項を使用する際の柔軟性が大幅に向上します。

すべてのライフサイクルにおいて、設定の創造性が発揮されます。つまり、複数のプロセスの種類、内部および外部の質問事項、質問事項の再利用を使用することで、プロセスフレームワークを利用してデータ収集の非効率性に対処することができます。

前提条件と制限事項

プロセスフレームワークは複雑な機能セットと、関連する構成から成っています。制約事項の概要については、このプレゼンテーション内のスライドを参照してください。前提条件および制約事項の包括的なリストについては、ドキュメントを参照してください。

機能の概要

説明: 評価プロセスおよびカスタムサプライライフサイクルプロセスのための新しいモジュール式プロセスフレームワーク

The screenshot shows the SAP Qualifications interface. On the left is a navigation menu with 'Qualifications' highlighted (1). The main area is titled 'Qualifications' and has a '+4' badge (4). It features tabs for 'Process qualifications' and 'Legacy qualifications'. A search bar with a 'Filter' button is present (2). Below are two tables: 'Internal Qualification' and 'TFMC - Indirect Qualification'. The first row of the Internal Qualification table is circled (3). A context menu for this row shows 'View' and 'Renew' options (5).

CATEGORY	REGION	BUSINESS UNIT	STATUS	OWNER	EFFECTIVE DATE
Building and Construction and Maintenance Services Category ID: 72	All Region ID: All		Internally Qualified	Bresnahan, Molly	6/11/2021

CATEGORY	REGION	BUSINESS UNIT	STATUS	OWNER	EFFECTIVE DATE
Apparel and Luggage and Personal Care Products Category ID: 53	Central America Region ID: CEMER		InProgress	Courtney Rome	
Mining and Well Drilling Machinery and Accessories Category ID: 20	All Region ID: All		InProgress	Courtney Rome	

1. [評価] は従来どおり 360° 上で使用できます。カスタマ定義プロセス用の新しい [プロセス] リンクが追加されました。
2. 従来の評価処理 (必要な場合) は新しいプロセスベースの評価とは異なる領域で管理されます。 ** 従来の評価の移行がどのように処理されるかについては、詳細はドキュメントを参照してください。
3. プロセスは、あらかじめ用意されたマトリックス選択肢と評価ステータスを使用した [プロセスの種類] によりグループ化されます。これにより、プロジェクト間で検索およびフィルタリングができるようになりました。
4. 新しい評価プロセスを開始します。
5. 状況に基づいた作業ベースのメニュー

機能の概要

説明: 評価プロセスおよびカスタムサプライヤライフサイクルプロセスのための新しいモジュール式プロセスフレームワーク

The screenshot displays the 'Create a process' interface for a 'PB Indirect Qualification Project'. It is divided into three main sections:

- Process Overview (1):** Shows the project name 'PB Indirect Qualification Project' with a 'Not Started' status. It lists details for the Supplier (ACME SUPPLIER, Vendor ID S12111351), Process Type (PB Indirect Qualification), Process Owner (Balachandar), and Matrix (All Commodities, All Region, All Business unit).
- Applicable questionnaires (2):** A section for newly assigned questionnaires, currently empty.
- Reusable Questionnaires (3):** A table of reusable questionnaires with columns for Questionnaire Name, Status, Expiry Date, Score, and Request Updates.

QUESTIONNAIRENAME	STATUS	EXPIRY DATE	SCORE	REQUEST UPDATES
<input checked="" type="checkbox"/> Optional Indirect Qualification for US ReUseTrue for ACME SUPPLIER - optional	Approved		-	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> Mandatory Indirect Qualification for US ReUseTrue with Phase for ACME SUPPLIER	Approved		-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> Internal Indirect Qualification for US ReUseTrue for ACME SUPPLIER - optional	NotResponded		-	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PB NA & APAC Specific Questions for ACME SUPPLIER - optional	Expired	29/08/2019	-	<input checked="" type="checkbox"/>

1. プロセス作成の概要には、プロセスの種類とマトリックスの詳細が含まれます。
2. プロセスに動的に割り当てられた質問事項
3. 状況および説明の詳細を含む再利用可能なモジュール式質問事項
4. 特定の質問事項に対する注意を向けるために (すでに回答済みまたは有効な場合でも) 更新を依頼する機能

機能の概要

説明: 評価プロセスおよびカスタムサプライヤライフサイクルプロセスのための新しいモジュール式プロセスフレームワーク

Internal Qualification 1

Pending Decision

Supplier: Electricians Bright Idea (Vendor ID S28434704)

Process Type: Internal Qualification

Process Owner: Courtney Rome (Started 4 weeks ago)

Matrix: All Commodities (Category ID: All, Region: All, Region ID: All, Business unit)

Process status 2

Required tasks have been completed. The process status is pending.

Make decision

Set process status 3

Internally Qualified

Conditionally Approved

Internal Qualification Denied

Leave comment

Enter a comment of up to 255 characters about your status decision (required)

1. プロセスレベルの決定および個別の質問事項の承認ワークフロー
2. 意思決定者は、受入フォームおよび関連するすべての質問事項を含むプロセス詳細にアクセス可能
3. プロセス状況は、テキスト値をカスタマイズすることも、詳細に設定することも可能です。結果として [Conditionally approved (条件付き承認)] が使用できるようになりました。

機能の概要

プロセスフレームワークの主な機能

柔軟性の高いライフサイクルフレームワーク

- すべてのサプライヤに1つのプロセスを使用するのではなく、モジュール式質問事項のコレクションを使用して、特定の状況やサプライヤの特定の種類に合わせて複数の異なるプロセスをカスタマイズすることができます。
- プロセスプロジェクトのカスタム状況を定義することで、組織の用語を使用し、より詳細な結果を反映することができます。

プロセスベースの評価

- 従来のサプライヤ評価プロジェクトに代えて、新しいプロセスプロジェクトが提供されます。各プロセスプロジェクトには、プロセスプロジェクトの受入フォームで選択された商品分類、地域、部門に基づいて動的に生成される、使用可能なモジュール式質問事項のリストが含まれています。これにより、質問事項セグメントコンテンツドキュメントの複雑なセットを構築する必要がなくなります。

カスタム(その他の)プロセス

- 組織の特定のサプライヤライフサイクルに合わせてプロセスを作成することができます。その他のプロセスでは、SAP Aribaの標準的なライフサイクルステージ名に一致させる必要がないので、組織のニーズに合わせてカスタマイズすることができます。

内部 & 外部 MQ

- プロセスプロジェクトは、内部のモジュール式質問事項(新)の内部受信者と、外部(サプライヤ向け)モジュール式質問事項(既存)のサプライヤ連絡先の両方から情報を収集することができます。内部モジュール式質問事項は、プロセスプロジェクトでのみサポートされます。

データ収集の合理化

- 複数のプロセスで質問事項を再利用します。一度モジュール式質問事項で情報を収集したら、受信者に再度回答を依頼する必要はなく、(有効期限が切れていない限り)該当の質問事項を含む新しいプロセスごとに再評価や再承認を行う必要がありません。代わりに、再利用された質問事項の更新をプロセスごとに手動で申請することで、特定の質問事項に合わせて更新申請要件をカスタマイズすることが可能になり、再利用された質問事項の情報を最新に保つことができます。

機能の概要

プロセスフレームワークプロジェクトの要素

プロセスフレームワークプロジェクトでは、特化された機能を含むプロジェクトテンプレートと、サイトマスターデータやモジュール式質問事項などのその他の要素を組み合わせ、ワークフローを作成します。サプライライフサイクルプロセスプロジェクトを設定するには、これらの要素および要素間の関係を理解する必要があります。

要素	説明
カスタムプロセスの種類	CSV ファイルで プロセスの種類のマスタデータをインポート して、サプライ管理プロセスの独自の種類を定義します。プロセスの種類を定義すると、ライフサイクルの種類が指定されます。この種類は、組織独自のその他のプロセス、またはサプライライフサイクルの SAP Ariba 評価ステージにマッピングされる評価プロセスとなります。
カスタムプロセス状況	CSV ファイルで プロセス状況のマスタデータをインポート して、独自のプロセス状況を定義します。使用するプロセスの種類ごとに、カスタム状況のセットを定義します。これらの状況向けに定義する表示名を、組織の特定のビジネスプロセスおよび用語に一致させることができます。
SM プロセスプロジェクトプロジェクトの種類	このプロジェクトの種類を使用して、 サプライ管理プロセスプロジェクト用のテンプレートを作成 します。モジュール式質問事項のプロジェクトテンプレートと同様に、複数の SM プロセスプロジェクトテンプレート を作成して、さまざまなプロセスを定義することができます。各テンプレートには異なるプロセスの種類を割り当てることができます。
プロセス受入フォーム	プロセスプロジェクトテンプレートの調査ドキュメントにより、プロセスプロジェクト開始者が入力してテンプレートからプロジェクトを作成するためのフォームが定義されます。 受入フォームで作成した質問 に対する回答により、プロセスプロジェクトテンプレートで参照されるモジュール式質問事項のうち、どの質問事項が個別のプロセスプロジェクトに含まれるかが決定されます。
外部タスク	プロセスプロジェクトテンプレートで特別な外部タスクを作成し、 プロセスにモジュール式質問事項を追加 します。
プロセス開始者および意思決定者のプロジェクトグループ	特別なプロジェクトグループ を使用し、特定のユーザーを機能に割り当て、特定のプロセスプロジェクト向けに状況の決定を作成します。これらのプロジェクトグループにより、個別のプロセスの責任の段階が、グローバルユーザーのグループメンバシップに比べて細かく管理されます。

機能の概要

プロセスの種類

プロセスの種類により、コアサプライヤライフサイクルにマッピングされる指定のさまざまなプロセスが定義されます。プロセスの種類ごとに1つずつテンプレートが含まれます。2111リリースでは、以下の2つのコアの種類が提供されます。

- **評価:** 従来の評価ライフサイクルがマッピング/置き換えられます。360° プロファイルの [評価] タブで開始、管理、表示を行うことができます。
- **その他:** その他のプロセスの種類は、独自に定義されたスタンドアロンプロセスです。したがって、従来のものではないライフサイクルステージにマッピングされます。360° プロファイルの [プロセス] 領域から開始できます。

[プロセスの種類をインポートする] というデータインポートタスクを使用して、SMProcessFlowType.csv ファイルをインポートします。

AribaLifeCycle	プロセスの種類 - (2108 リリース以降) [評価] または [その他] のコアライフサイクル
Description	プロセスの種類のフリーテキスト説明
Name	UX のさまざまな場所の [プロセスの種類] プルダウンリストに表示されるプロセスの種類名
UniqueName	プロセスの種類の一意の ID

	A	B	C	D
1	AribaLifeCycle	Description	Name	UniqueName
2	Qualification	Direct Supplier Qualification	Direct Supplier Qualification	DirectQualification
3	Qualification	Indirect Supplier Qualification	Indirect Supplier Qualification	IndirectQualification
4	Qualification	Internal-only qualification process to be completed prior to suppliers being designated as preferred suppliers	Internal Qualification	InternalQualification
5	Miscellaneous	Pre-Qualification	Pre Qualification Vetting	PreQualification
6	Miscellaneous	Supplier must complete pre-registration before we collect their information to be setup in our transactional system	Pre-Registration	PreRegistration
7	Qualification	Standard supplier qualification process	Qualification	StandardQualification
8	Miscellaneous	Supplier Due-Dilligence process	Supplier Due-Dilligence	DueDilligence

機能の概要

プロセス状況

すべてのサプライヤ管理プロジェクトには基本的なプロジェクト状況が用意されていますが、プロセスフレームワーク状況は状況に自動的に関連付けられません。SMResourceStatus.csv データインポートを使用して、これらの状況を定義する必要があります。

- たとえば、[コンプライアンス] というその他のプロセスの種類がある場合、[Approved] 状況に対して [準拠]、[Denied] 状況に対して [非準拠]、[ConditionallyApproved] に対して [部分準拠] という状況を定義することができます。

以下のような重要な機能が自動的に適用されるように、プロセスフレームワーク状況が従来の評価状況にリンクされます。

- ソーシングイベントへの参加依頼の資格基準
- 評価プロセスプロジェクトに承認済み状況の設定後、優先サプライヤ管理プロジェクトを開始する機能

[プロセスの種類をインポートする] というデータタスクを使用して、SMResourceStatus.csv ファイルをインポートします。

説明	プロセス状況のフリーテキスト説明
Name	ユーザーインターフェイスに表示されるプロセス状況の名前
UniqueName	プロセス状況の一意の ID
ProcessType.UniqueName	状況が適用される基本的なプロジェクト状況
ProjectStatus	状況が適用される基本的なコアプロジェクト状況 (次のスライドを参照)

機能の概要

意思決定

ほかのサプライヤ管理プロジェクトとは異なり、構成要素である質問事項に関連するすべてのタスクが完了すると、プロセスプロジェクトの状況は事前設定されたビジネスルールに基づいて自動的に設定されるか、または手動で設定することができます。

状況の設定前に意思決定者がプロセスとその質問事項を確認します。

この状況は永続的なものではありません。意思決定者がいつでも編集することができます。

- たとえば、評価プロジェクトの重要な質問事項の有効期限が切れており、サプライヤが未更新の場合、該当プロセスの意思決定者は状況を [承認済み] から [**Conditionally approved (条件付き承認)**] に更新することができます。
- サプライヤが質問事項を更新することなく期限切れを許可した場合、意思決定者はプロセス状況を再び更新し、 [**Conditionally approved (条件付き承認)**] から [却下済み] に変更することができます。

意思決定者はコメントによって特定の決定を行った理由を説明することができます。また、前回の決定とそのコメントの表によって、プロジェクトの意思決定者チームの全メンバーが、変更とその理由を追跡することができます。

サプライヤの主要連絡先とプロセスの意思決定者グループの全メンバーは、状況変更に関する通知を受信します。

機能の概要

API の考慮事項

既存の SLP API に加えて、プロセスフレームワークをサポートするために以下の考慮事項が追加されました。

評価データのエクスポート

- プロセスの種類によって更新された既存のサプライヤデータ API
- /vendorDataRequests/ 出力形式

```
"qualifications": [  
  {  
    "Qualification Status": "Qualified",  
    "Preferred Status": "",  
    "Category": "53",  
    "Region": "USA",  
    "Business Unit": null,  
    "Process Type": "Data Unit"  
  }  
]
```

API に追加された受入フォーム

- MQ External Approval API "Get Workspace Details" に受入フォームドキュメント ID が含まれるようになりました。
- 受入フォームの詳細は、Get Document Details API により受入フォームドキュメント ID を使用してエクスポートすることができます。
- 出力例:
"entityType": "RFXDocument",
"projectItemType": "Document",
"isProcessIntakeForm": true,
"format": "Questionnaire",
"title": "ProcessFlow",
"version": "v1",
"aribaType": "ariba.sourcing.rfx.RFXDocument",
"workspaceTitle": "ProcessFlow Template for Anti Bribe Compliance",
"id": "Doc13138903",

機能の概要

制限事項

プロセスフレームワークは複雑な機能セットと、関連する構成から成っています。前提条件および制約事項の包括的なリストについては、ドキュメントを参照してください。この機能の概要では、考慮すべき 3 つの主要な制限事項について説明します。

従来の評価プロジェクトからの移行

- 従来の評価専用プロジェクトの質問事項から、評価プロセスプロジェクトで使用されるモジュール式サプライヤ管理質問事項にデータを移行することはできません。従来の評価に基づく再評価では、新しい評価プロセスプロジェクトが使用されます。このプロセスプロジェクトには以前の評価からのデータは含まれないため、受信者はプロセスベースの新しいモジュール式質問事項を提出して再評価する必要があります。
- SM 管理の質問事項インポートでは、モジュール式質問事項へのデータのインポートはサポートしていないため、SM 管理の質問事項インポートを使用して、従来の評価質問事項または外部システムから、プロセス関連のモジュール式質問事項に評価データを移行することはできません。

テンプレートのアップグレード

- プロセスプロジェクトのテンプレートアップグレードは現在サポートされていません。しかし、プロセスプロジェクトで使用されるモジュール式質問事項のテンプレートアップグレードは利用可能です。

統合

- モジュール式質問事項のマッピングされた質問のデータを統合 ERP システムに同期することは、現在 SAP Ariba では検証または認定されておりません。
- プロセス受入フォームから統合 ERP システムへのデータの同期はサポートされていません。
- 統合設定により、評価状況に基づいて新規サプライヤが自動的に統合されるよう指定されている場合、プロセス評価状況は従来の評価状況と同様に動作し、ERP システムへの初期同期がトリガされます。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2021 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/copyright をご覧ください。